

---

[成果情報名] フジコナカイガラムシの天敵が効率的に採集できる天敵誘引トラップ

[要約] 毛糸を絡ませた黒色マジックテープ（2.5cm×12cm）にフジコナカイガラムシの卵塊および成・幼虫を接種した天敵誘引トラップを作製した。本トラップにより、従来使用していたフジコナ誘引トラップより多くの天敵類を得ることができ、より正確に天敵相を把握できる。

[キーワード] フジコナカイガラムシ、カキ、天敵

[担当部署] 病害虫部・虫害チーム

[連絡先] 092-924-2938

[対象作目] 果樹

[専門項目] 病害虫

[成果分類] 研究手法

---

[背景・ねらい]

カキの重要害虫であるフジコナカイガラムシに対する土着天敵を利用した環境保全型防除技術の開発において、天敵類の特性評価や天敵相の調査を行うため野外の天敵類を採集する必要がある。これまで使用していたバンドトラップ（以下、フジコナ誘引トラップ）を用いた方法は、トラップに誘引されたフジコナカイガラムシによる天敵の採集であり、効率が悪い。そこで、効率的に天敵類を採集できるトラップを開発する。（要望機関名：久留米普(H12)）

[成果の内容・特徴]

1. 新しく開発した天敵誘引トラップは、黒色マジックテープ（2.5cm×12cm）に毛糸を絡ませて作製したフジコナ誘引トラップに、フジコナカイガラムシの卵塊約10個と成・幼虫を接種したものである（図1）。
2. 図2のように野外に天敵誘引トラップを約10日間設置し、回収後、トラップごと密閉できるビニル袋に収容して25℃で飼育すると、約2ヶ月後に袋内で羽化した天敵類を得ることができる。
3. 天敵誘引トラップを用いることによってフジコナ誘引トラップより多くの天敵類を得ることができ（表1）、より正確に天敵相を把握できる。

[成果の活用面・留意点]

1. 土着天敵相調査法として活用できる。
2. 接種するフジコナカイガラムシは黒皮カボチャで飼育できる。

[具体的データ]

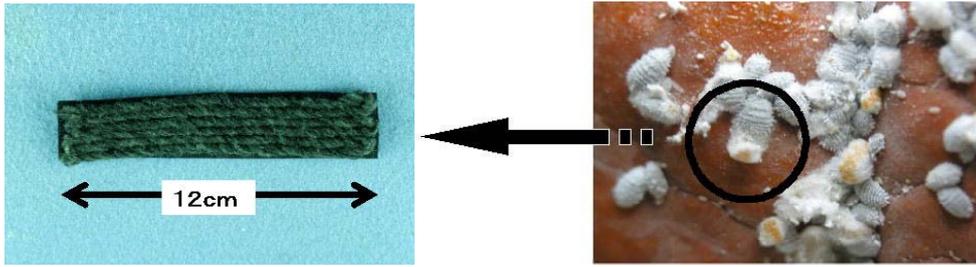


図1 天敵誘引トラップの作製方法

マジックテープに毛糸を絡めて作製したフジコナ誘引トラップ（写真左）の毛糸の隙間に、卵塊（約10個）を主体にフジコナカイガラムシ（同右）を接種する。



図2 天敵誘引トラップ設置方法

フジコナカイガラムシを接種した面を外側にしてダブルクリップで固定する。

表1 2種のトラップによって採集された土着天敵類の比較

ほ場	トラップの 種類	採集された天敵の種類および数										
		寄生蜂					捕食者					
		クロハチ	トビ	ツノグロ	ヘニ	ヒゲナガ	タマハエ	スジクロ	ムツホシ	テントウ	ヒメハナ	カゲロウ
吉井	天敵誘引	637	59	11	6	2	6	24	1	0	0	14
A	フジコナ誘引	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
吉井	天敵誘引	1,145	48	22	28	0	36	28	8	0	1	8
B	フジコナ誘引	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
試験	天敵誘引	411	16	56	0	7	8	3	0	182	11	9
場内	フジコナ誘引	47	6	19	1	1	3	0	0	1	0	0

(2005. 4. 25～10. 26)

注) クロハチ：フジコナカイガラクロハチ  
トビ：フジコナカイガラトビコハチ  
ツノグロ：ツノグロトビコハチ  
ヘニ：ヘニトビコハチ  
ヒゲナガ：フジコナヒゲナガトビコハチ  
タマハエ：タマハエ類  
スジクロ：スジクロヒメカゲロウ  
ムツホシ：ムツホシコナカゲロウ  
テントウ：テントウムシ類  
ヒメハナ：ヒメハナカメムシ類  
カゲロウ：その他カゲロウ類幼虫

[その他]

研究課題名：土着天敵類の特性評価と活用技術の確立

予算区分：指定試験

研究期間：平成17年度（平成13～17年）

研究担当者：手柴真弓、堤 隆文